

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年10月20日 (2011.10.20)

【公表番号】特表2010-539077(P2010-539077A)

【公表日】平成22年12月16日 (2010.12.16)

【年通号数】公開・登録公報2010-050

【出願番号】特願2010-523602(P2010-523602)

【国際特許分類】

A 6 1 K	31/716	(2006.01)
A 6 1 K	36/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	9/12	(2006.01)
A 6 1 P	9/10	(2006.01)
A 6 1 P	3/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/04	(2006.01)
A 6 1 P	3/06	(2006.01)
A 2 3 L	1/30	(2006.01)
A 2 3 L	2/52	(2006.01)
A 2 3 L	2/38	(2006.01)
A 2 3 K	1/18	(2006.01)
A 2 3 K	1/14	(2006.01)
A 2 3 K	1/16	(2006.01)
A 6 1 K	36/18	(2006.01)
A 6 1 K	31/7024	(2006.01)
A 6 1 K	31/366	(2006.01)
A 6 1 K	31/7004	(2006.01)
A 6 1 K	31/05	(2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K	31/716	
A 6 1 K	35/78	X
A 6 1 P	9/00	
A 6 1 P	9/12	
A 6 1 P	9/10	1 0 1
A 6 1 P	3/00	
A 6 1 P	3/04	
A 6 1 P	3/06	
A 2 3 L	1/30	B
A 2 3 L	2/00	F
A 2 3 L	2/38	C
A 2 3 K	1/18	A
A 2 3 K	1/14	
A 2 3 K	1/16	3 0 4 C
A 2 3 K	1/16	3 0 3 D
A 6 1 K	35/78	C
A 6 1 K	31/7024	
A 6 1 K	31/366	
A 6 1 K	31/7004	
A 6 1 K	31/05	

## 【手続補正書】

【提出日】平成23年8月31日(2011.8.31)

## 【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ブニカラギン、エラグ酸及び糖類を含有するザクロ抽出物であって、  
ブニカラギン／エラグ酸の比率（w／w％）が10／1～35／1の範囲内であり、ブニカラギン／糖類の比率（w／w％）が10／1～50／1の範囲内であり、  
総糖類含量が3％（w／w）以下であり、  
ブニカラギン含量が少なくとも30％（w／w）であり、  
エラグ酸含量が2％（w／w）以下であり、  
総フェノール類含量が少なくとも30％（w／w）（没食子酸当量として表示される）であり、  
水溶性が少なくとも7％w／v（70g／リットル）であり、  
残留有機溶媒含量が1ppb未満である  
ことを特徴とするザクロ抽出物。

【請求項 2】

水溶性が少なくとも10％w／v（100g／リットル）であり、  
総糖類含量が1％（w／w）以下である  
ことを特徴とする請求項1記載のザクロ抽出物。

【請求項 3】

グルカン（乾燥基準）含量が少なくとも30％の水溶性食物繊維を含有する  
ことを特徴とする請求項1又は2記載のザクロ抽出物。

【請求項 4】

請求項1～3の何れかに記載のザクロ抽出物からなる機能性食品又は機能性飲料である栄養製品であって、  
前記製品におけるブニカラギン／エラグ酸の比率（w／w％）が、10／1～35／1の範囲内であり、  
前記ブニカラギン／添加ザクロ糖類の比率（w／w％）が、10／1～50／1の範囲内である  
ことを特徴とする栄養製品。

【請求項 5】

フルクトースを更に含有し、  
前記栄養製品中のブニカラギン／フルクトースの比率（w／w％）が、60／1～100／1の範囲内である  
ことを特徴とする請求項4記載の栄養製品。

【請求項 6】

前記製品は、水溶性食物繊維を含有する  
ことを特徴とする請求項4～5の何れかに記載の栄養製品。

【請求項 7】

前記ブニカラギン含量が、0.005％w／w～5％w／wの範囲内である  
ことを特徴とする請求項4～6の何れかに記載の栄養製品。

【請求項 8】

前記製品は、ヒドロキシチロソルを更に含有する  
ことを特徴とする請求項4～7の何れかに記載の栄養製品。

【請求項 9】

前記製品は、飲み物、飲料、酪農製品、植物油、海産食用油、魚介食用油、肉製品、鶏肉製品、ベーカリー製品、パスタ系製品、野菜コンサーブ、果実コンサーブ、シーフード缶詰、魚類缶詰、スナック、スウィーツ、塩、砂糖、シーズニング及びこれらの２種類以上の組合せからなる群から選択される

ことを特徴とする請求項４－８の何れかに記載の栄養製品。

【請求項１０】

前記製品は、ペット用又は動物用機能性食品である

ことを特徴とする請求項４－９の何れかに記載の栄養製品。

【請求項１１】

前記ザクロ抽出物は、食品及び飲料の脂質酸化を防止又は阻止するための食品添加物として使用される

ことを特徴とする請求項１－３の何れかに記載のザクロ抽出物。

【請求項１２】

前記ザクロ抽出物は、黴、細菌及びその他の微生物による食品及び飲料の腐敗を防止又は阻止するための食品添加物として使用される

ことを特徴とする請求項１－３の何れかに記載のザクロ抽出物。

【請求項１３】

前記ザクロ抽出物は、心臓血管系疾患、動脈性高血圧症、動脈内へのプラーク堆積及びメタボリック症候群の予防又は治療に使用される

ことを特徴とする請求項１－３の何れかに記載のザクロ抽出物。

【請求項１４】

前記製品は、心臓血管系疾患、動脈性高血圧症、動脈内へのプラーク堆積及びメタボリック症候群の予防又は治療用の薬剤及び／又は組成物の製造に使用される

ことを特徴とする請求項４－１０の何れかに記載の栄養製品。

【請求項１５】

前記ザクロ抽出物は、心臓血管系疾患、動脈性高血圧症、動脈内へのプラーク堆積及びメタボリック症候群の予防又は治療用の薬剤及び／又は組成物の製造に使用される

ことを特徴とする請求項１－３の何れかに記載のザクロ抽出物。